



1. マーケット・レート

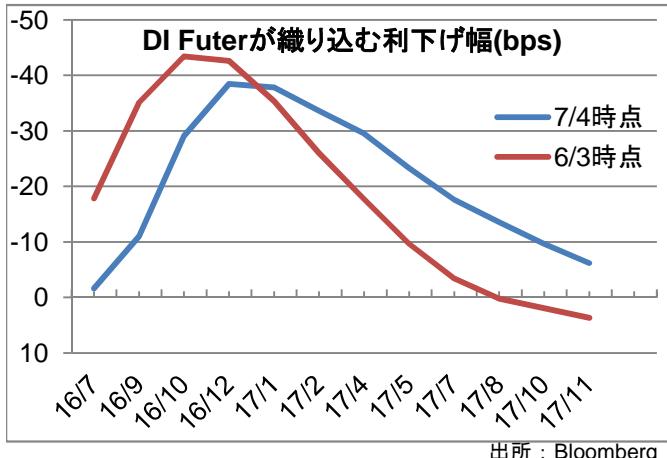
			6月27日	6月28日	6月29日	6月30日	7月1日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3,3920	3,3030	3,2200	3,2130	3,2360	+0,0230
	BRL/JPY	Spot	30,06	31,11	31,89	32,14	31,68	-0,46
	EUR/USD	Spot	1,1022	1,1067	1,1123	1,1104	1,1137	+0,0033
	USD/JPY	Spot	101,96	102,76	102,85	103,22	102,54	-0,68
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13,66	13,87	13,90	13,96	13,84	-0,1139
	Future	1Year(p.a.)	13,02	13,21	13,29	13,38	13,19	-0,1860
	On-shore	6MTH(p.a.)	3,158	3,234	2,675	2,742	2,428	-0,314
	USD	1Year(p.a.)	3,282	3,260	2,996	2,805	2,550	-0,255
株式	Bovespa指數		49,245,53	50,006,56	51,001,91	51,526,93	52,233,04	+706,11
CDS	CDS Brazil 5y		347,14	334,08	320,11	316,97	312,72	-4,26
商品	CRB指數		187,568	191,545	194,636	192,574	194,260	+1,686

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2.週間市況、トピックス

- 英国のEU離脱観測から米利上げ観測が後退。リスク資産が反発しレアルは2015年7月以降で初めて3.20割れまで上昇。
- 今週のレアルは3.3710で寄り付いた。週初に週間安値となる3.4150をつけるも、英国民投票により米国の早期利上げ期待が後退したことを受けリスク資産が反転すると、レアルも反転し高値を伺う動きとなった。ゴールドファイン伯中銀総裁がレアルは変動相場制であるべきと発言をしたことを受け為替介入警戒感が後退したことや、英中銀が追加緩和を行う可能性が高まったことを受け、週間高値となる3.1840を示現。しかし週末にかけては伯中銀がドル買い介入を実施しレアルは反発。結局3.2360で越週。
- 伯中銀によるアナリスト予想調査では、2016年と2017年の経済成長率予想が-3.44%と1.0%で据え置きとなった。インフレ率予想は2016年末が7.25%から7.29%に6週間連続で据え置かれた。
- 28日に発表された伯中銀の第2四半期インフレーションレポートでは、2017年のインフレ目標を実現するために必要な施策を取って行くことが強調された。インフレ見通しは2016年末が6.6%、2017年末が4.9%で据え置かれ、インフレ目標も4.5%で不変だった。インフレ目標実現時期は2018年第1四半期から延期されなかったことから、市場では伯中銀が現状の金融政策スタンスを変更しないとの見方が広がり、早期利上げ期待が後退した。

3.今週のチャート&ハイライト



伯中銀の早期利上げ期待が後退

今週伯中銀が発表したインフレーションレポートで、インフレ目標4.5%が実現される時期の見通しが延期されなかつたことから、中銀が当面金融政策スタンスを変えないとの見方が広がり、レアル金利先物市場が織り込む利下げ時期が後倒しになった。7月のCOPOMでの利下げ期待は消滅し、金利先物市場は10月の利下げを織り込む形で取引されている。英国民投票結果後にマーケットが落ち着きを取り戻し、ポンドやリスク資産が反発する中、高金利通貨としての期待もあり、レアルは昨年7月以来の水準を回復した。



4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.10–3.40

来週は7/6に公表されるFOMC議事録と7/8に発表される米6月雇用統計に注目が集まる。FOMC議事録は英国民投票前に開催された内容ではあるが、議事録内容から今後の米金融政策スタンスを伺うことになる。米雇用統計に対する現在の市場コンセンサスは非農業部門雇用者数が前月比175千人で、前回の38千人から急回復する予想となっている。5月の非農業部門雇用者数は大手通信会社のストライキという特殊要因があったものの、それを差し引いても弱い数字だった。この弱さが一過性のものであったかが焦点となる。一方、ブラジル国内では伯中銀の為替介入姿勢と、7/8に発表される6月インフレ率に注目が集まる。伯中銀は来週明けにもドル買いスワップ入札を行うと発表しているが、どの水準まで介入を続けるのかに市場は注目している。また、インフレ率は前年比8.87%が市場コンセンサスだが、前月は2月から3ヶ月連続で低下したインフレ率が下げ止まったため、再び低下基調に戻るかが焦点となっている。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	FGV CPI IPC-S	0,29%	0,26%	0,33%
ブラジル	鉱工業生産(前月比)	0,0%	0,0%	0,2%
ブラジル	マーケット・ブラジルPMI製造業	--	43,2	41,6
ブラジル	貿易収支(月次)	\$4150m	\$3974m	\$6437m
米	マーケット米国製造業PMI	51,2	51,3	51,4
米	建設支出(前月比)	0,6%	-0,8%	-2,0%
米	ISM製造業景況指数	51,3	53,2	51,3

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	7/5	FIPE消費者物価指数(月次)	Jun	--	0,57%
ブラジル	7/5	マーケット・ブラジルPMIコンポーネント	Jun	--	38,3
ブラジル	7/5	マーケット・ブラジルPMIサービス業	Jun	--	37,3
米	7/5	製造業受注指数	May	-0,9%	1,9%
米	7/5	耐久財受注(前月比)	May F	-2,2%	-2,2%
ブラジル	7/6	自動車販売台数(伯自工会)	Jun	--	167489
ブラジル	7/6	商品価格指数(前月比)	Jun	--	1,47%
米	7/6	MBA住宅ローン申請指數	jul/01	--	-2,6%
米	7/6	貿易収支	May	-\$40.0b	-\$37.4b
ブラジル	7/7	FGVインフレ率IGP-DI(前月比)	Jun	1,61%	1,13%
米	7/7	ADP雇用統計	Jun	156k	173k
ブラジル	7/8	FGV CPI IPC-S	jul/07	--	0,26%
ブラジル	7/8	IBGEインフレIPCA(前月比)	Jun	0,36%	0,78%
米	7/8	非農業部門雇用者数変化	Jun	175k	38k
米	7/8	失業率	Jun	4,8%	4,7%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引、その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて、お客様御自身で判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。